



発行所
西原町役場
西原町字嘉手苅112番地
電話 (09894) 5-4533
印刷
印刷センター 大永
電話 (0988) 67-5111~3

町の世帯・人口
(昭和54年12月末日現在)
世帯数 3,824世帯
人口 15,911人
男 8,106人
女 7,805人
12月の人口移動
出生 21人 死亡 6人
転入 81人 転出 61人
婚姻 18件 離婚 0件

申年に羽ばたく成人者

おめでとう

本町では、今年晴れて大人の仲間入りをした若人は一九二名。その成人式が一月十五日午後二時から中央公民館で行なわれ、成人者の門出を祝った。

成人者は、昭和三十四年(亥年)生れがほとんどで男一〇四名、女八八名。前途有望で本町の担い手として期待が大きい。

式典には約一六十名の成人者のほか、町長、議長、教育委員長、教育長、助役、収入役、村議会議員、各区事務担任者、町役場全課長などの多数の来賓が出席。

式は、開会のことば、成人者紹介、式辞(仲宗根英輝教育委員長)、記念品贈呈、祝辞(宮平町長、親泊議長、小川教育長、松田・沖青協会長)などがありなごやかに進められた。

この日をさかんに成人者の権利と義務を全うして社会に貢献する立派な社会人になってもらうよう促された。

来賓からの祝福に対して成人者代表として小波津三六番地の玉寄恵さんが「常に社会の一員としての



192名の若人が晴れて大人の仲間入りをした成人式、中央公民館で、1月15日。

成人者の声



二〇才になって

棚原五七番地 城間直子

一月十五日、周囲の方々からは「おめでとう」とか「おめでとう」とか、祝福の言葉をいただきました。成人の日をさかんに私は大人の仲間入りをしたことになるのです。

今日まで温かい両親の腕の中ですごしてきた私です。今日から大人になったのだからといって昨日までの自分自身をそう簡単に

切り替えられるものではありません。しかし、気持ちの引き締まる思いはします。

私を今日まで、はぐくみ育てあげてくれた両親やまわりの人々に心から感謝をし、それと同時に健全な社会人となるように努力します。また、これからは大人になったことを新たに自覚して、自分の行動には、責任をもつようになりたいと思います。

私は、最近自分の目標とするものへのために、勤めていた会社をやめました。それは、学校を終えと同時に、社会の中に入りそこで、一年余り仕事に就いてみて、以前から自分の希望としていたも

のへの気持ちが変らなかつたからです。私は、このようなことも、二〇才という若さがあってこそ、できるものだと思います。

ところで、若さは、私たちに与えられた誇るべき特権です。この特権をあますことなく活用して、自分の未来を、自分の人生を、自分自身の手で、よりよい方向へと切り開いていきたいと思っています。

また、このように、若い私たちが自己開発のために、前に突き進んでいく前向きな姿勢は、郷土の発展にも、つながると信じ、成人の日を、新しい人生の出発点として、よりいっそう頑張っていきたいと思っています。

成人者の声



責任ある態度で新たな時代へ

小橋川六一番地 大城剛

私は学生であるため、社会のきびしさを知らず甘えが残っており、社会ではもう自分の行動に対して一人の大人として認める年齢になったかと思うと不安と責

任感を両肩に感じるのであります。

社会については、まだ経験不足であるために成人としての自覚が湧いてきません。学生生活のうち、何かひとつ将来自分が成長するために何事にも挑戦していく心を身につけて学生生活を終えたいと思います。

また、時の動きをすばやく見抜き、その動きの先を見つめること

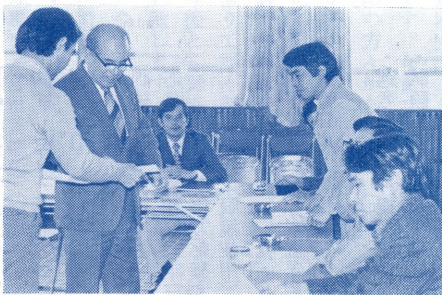
成人式を迎えた私達は、「今後の世の中は我々の若者の手で」というひとりの自覚をもとに責任ある態度で新たな時代へ大きく飛び出して行きたいのであります。

町公害対策審議委員決まる

町公害防止条例にもとづく本町の公害対策審議委員八名の辞令交付式が一月二十三日町役場会議室で行なわれた。委員の任期は二年。

尚、審議委員は次の通り。

稲福勝美(議会代表) 会長
大城盛孝()
崎原盛善()
座波進()
大城康弘(事務担任者代表)
大城静子(婦人会代表)
喜屋武昇(一般知識経験者)



町公害対策審議委員の辞令交付式、町役場で、1月23日。

昭和54年度分所得税の申告はお済みですか

確定申告は3月15日まで

昭和五十四年度分の贈与税の申告と所得税の確定申告の期限は三月十五日ですが、あなたはもうお済みですか。期限間近になると税務署は大変混雑しますので、早目に申告をすませましょう。

税金に関してよく分からない点があったり、もっと詳しく知りたいときはお気軽に税務署にご相談ください。また、「申告書の書きかた」や「確定申告の手引」などが税務署に用意してありますので、参考にしてください。

尚、北那覇税務署では、2月21日・22日の午前九時半から午後四時まで西原町役場二階(会議室)で移動納税相談を開きます。税務署まで行かないでも申告できますのでご利用ください。

自然を見直す歩こう歩こう大会

町教育委員会では、一月十三日午前九時から恒例の歩こう歩こう大会を開き賑った。

大会には、親子連れ、子供たちお年寄りら約八百人が参加、七キロの道のりを全員が元気に完歩した。この大会は、歩くことを通して体力の増進を図るのがねらい。同時に町の自然に親しみ、子どもたちに町の地理を知らすユニークな取り組み。

コースは西原中学校を出て西原の塔、池田、沖繩カントリークラブ、我謝児童公園、西原小学校、中央公民館などを経由して西原中



約800名が参加、楽しい歩こう歩こう大会、全員が完歩、1月13日。

翁長課長が広報功労賞



翁長貞正氏

一月三十日、自治会館で行なわれた県広報大会の席上で本町の翁長貞正・企画課長が広報功労賞を受けた。

同課長は、十三年の長期にわたる広報主管課長として広報に力をこめて、町勢要覧、町民便利手帳、画報にしろなどの編集発行に当り本町の広報活動の充実発展に大きな功績があったことから今回の表彰となった。

仲宗根氏に町行政功労賞



宮平町長から町行政功労賞を受ける仲宗根氏。

町では、二月一日町役場会議室で事務担任者会の席上、仲宗根恵氏(六三才)に宮平町長から町行政功労賞が手渡された。

同氏の町職員としての永年のご尽力とご功績に報いようと今回の表彰となった。同氏は、去年十二月三十一日に退職。

席上、宮平町長ほか助役、収入役、事務担任者、全課長などが出席し、表彰が行なわれた。

寄付お礼

一月十二日、字棚原三〇五番地の糸数ヒデさん(七三才)から町社会福祉協議会に生年祝いを取りやめてその支度資金五万円を社会福祉のために役立ててもらいたいと寄付がありました。

小橋川二一〇一六六番地の主婦・川平マリーローさんから一月二十八日に町役場福祉課へ「恵まれない子どものために役立てて下さい。」と人形、絵本などのおもちゃの寄付がありました。それは、長女・直美ちゃん(六才)の成長に伴ない、いらなくなったものの紙面をかりて感謝致します。

社長さんご存知ですか

中高年齢者を雇い入れた場合の助成金について

雇用の促進に関する奨励制度がいろいろありますが、中高年齢者を採用した事業主に対する奨励措置「中高年齢者雇用開発給付金」について紹介しますのでご利用下さい。

「中高年齢者雇用開発給付金」

一 受給できる事業主

昭和五十四年六月八日から五十五年六月七日までの間に安定所の紹介により、四十五歳以上六十五歳未満の者を雇い入れ、事業所における中高年齢者(四十五歳以上)及び中高年齢者(五十五歳以上)の雇用割合又は、雇用者数を高めた事業主。

二 受給できる額

イ 中小企業は、支払った賃金の45(後半の六カ月は23)

ロ 大企業は、支払った賃金の35(後半の六カ月は12)

三 受給できる期間

イ 中高年齢者(五十五歳以上)は、一年六カ月

ロ 中高年齢者(四十五歳以上)は、一年

職業訓練生募集

訓練科目・定員・応募資格及び訓練内容

科目 機械科
定員 二五名

訓練期間 二ケ年

応募資格 昭和五十五年三月中学校卒業見込者又は同等以上の学力を有する若年者で、心身健康、視力〇・五(眼鏡使用)以上、色覚正常な者。

入校選考

・願書受付 昭和五十五年三月三日(昭和五十五年三月二七日)

・選考日時 昭和五十五年三月二八日(金) 九時半集合十時試験開始

・選考場所 沖繩南総合高等学校職業訓練校

・試験科目 国語・数学・理科・面接

尚、詳しいことは、沖繩南総合高等学校職業訓練校(具志頭村字港川一四一番地、電話〇九八九八三三〇〇)にお問い合わせ下さい。

四 受給のための安定所への手続

イ 中高年齢者を採用してから一カ月以内に受給資格決定申請を行う。

ロ その後、六カ月ごとに支給申請を行う。

※ご相談とお問い合わせは、最寄りの職業安定所へどうぞ。

那覇公共職業安定所
電話 六七六四七二

夕暮れ時

運転者のへ
注意

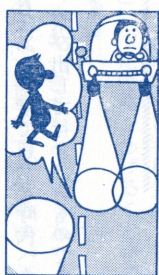
一日のうち、どの時間帯に比べても多くの死亡事故が発生する。昭和五十三三年を例にとり、年間死亡事故件数八千三百一十一件のうち四分の一にあたる二千九十九件が、午後四時から八時の間に起きています。夕暮れから宵にかけての四時間、運転者にとっても歩行者にとっても、最も注意を要するときです。

ヘッドライトは 早目につけよう

日が暮れかかるころから、真つ暗になるまでは若干の時間があります。そして、薄暮時は、刻々とやみに向かって時を刻んでいます。わたくしたちが感じているより実際は暗いことが多いです。

「蒸発現象」に ご注意

走行中、自分の車と対向車のライトが交錯して、道路の中央部分が一時的に見えなくなることを「蒸発現象」といいます。



この「蒸発現象」からもわかるように、ライトをつけていれば安全とタカをくくるとは考えられません。とくに冬場は、オーバーははじめ黒っぽい服が多いため「蒸発現象」も起こりやすいといえます。運転される方は、とくにご注意を。

夕暮れ時のヘッドライトは早目につけましょう。

中城若松は西原の生れ

与那城二四八番地 仲田 朝宗

執心鐘入々という組踊りの中に
出てくる「中城若松」が実在の人
物だったという事は、あまりし
られていない。

中城若松は安谷屋の若松とも称
し「章」氏を賜わって、その子孫
は安谷屋、佐久間、外間、上間な
ど名前頭に「正」の字がつく家系
で、若松は中城安谷屋城の城主で
あったといわれている。

中城若松の父は西原間切内間か
ら出て、中山の王位についた「尚
円王金丸」であり、その母は「君
喜世良按司」といわれ、「章」
氏の元祖として伝わっている。

尚円王が王位についてから、越
来按司大城親方らは尚円の策謀に
不満を抱き首里王城のてんぶくを
図り、安谷屋城の按司をはじめ、
中部の二、三の按司とめし合せ

て北谷に国直城を築いて、兵を集
め、国を元に直そうと企んだ。

しかし、この城は築城の途中で
尚円の軍勢に攻められて崩壊し、
大城親方は追撃されて、知花村の
洞穴の中で火攻めにあって自殺

し、のこりの按司も一人去り二人
逃げして日々気勢をさがれ遂に
全く勢力を失って離散した。

新王朝転覆に加担した按司たち
は自分の封土に帰ることも出来ず
諸村に隠れ住む様になった。

このとき安谷屋城主もまた牧港
辺に隠棲する様になり、安谷屋城
も主のいない城となったので、内
間から「中城若松」を迎えて、安
谷屋城の城主と仰ぐようになった
という。

ところで、「中山世譜」のなか
に「内間大屋久森」とあるのは、
中城若松が十四、五歳のころ、
父内間御鎖とともに、若松も首里
城に小赤頭役（こあくがみやく）
として勤めていたので、首里との
往復も頻繁であった。

西原の口説紹介

(三)

辻口説

「辻口説」は小波津のカミジ
ヤーという娘が尾類売いされ、そ
こでの生活の様子を歌ったもので
ある。旧藩時代の西原間切は娼妓
の多いところであったという。

彼女たちは家庭の貧しさゆえ
に苦界に身をすめたその境遇を
かたときも忘れなかった。故に彼
女たちはその貧しい実家のために
身を殺しても常に物質的援助を

惜しまない。貧しい父母のために
に、家を建て、地所（土地）を
求め、可愛い弟妹の学費を貢ぐの
である。

かつて沖縄名産の阿旦葉帽子が
さかんに外国（欧米諸国）へ輸出
されたころ、辻で彼女たちが昼間
の暇を利用して帽子を編みの内職
に励んだという。

この「辻口説」は小波津の玉那

してみたら首里坂下の円覚寺に入
るのを見届けたので、そばにいた
寺男にたずねたところ、その人が
中城若松であることを知り、首城
に勤めて小赤頭役で余暇のときに
は、こうして円覚寺の書院で勉強
していると話してくれた。

ところが娘の思いは深く再々円
覚寺に通って、ある時は水を飲み
に、またある時は道を聞きに、あ
の手この手をつかって、ひたすら
若松に会う機会をねらったが、真
面目一徹な若松はこれを知ってか
知らずか、とうとう娘と一語もか
わすことなく、思いのたけを打ち
あけるすべもなく、思い焦れて死
んでしまった。

多分その死にかたも尋常ではな
く変死ではなかったかといわれ
ている。

娘は死後末吉世口の「フシマン
トウ」近くの岩陰を掘り抜いた墓
に葬られた。

戦前墓の中には、布織機や茶碗
食器類、南蛮ガメ、カラカラーな
どが骨壺と一緒にのこっていたそ
うだが、戦後、そのようなもの
も、どこに吹き飛んだのかなくな
り、墓の形だけ残っている。

しまや西原小波津村
うやとくぐるくじゅうぐく
親ぬ年頃五十五六
だんだん困窮にない果てて

七ちぐるにや尾類花に
うてて暮ちやるわんやしが
あさゆ

朝夕アツマがいちんぐと
耳に入りらん気まかしに
さればアツマが悪だくで

答ゆかきとていちんぐと
夜々ぬややぐと泣ちあかち
泣きば近所んはいすりて

なかひに引ちとて舟疏しちん

我みや辻村後道の
左馬ぬカミジャやいびしが
委細に話さばちちみそり

作詞 小波津カミジャー

語り継ごう戦争体験

そして娘の死後、墓のある「フ
シマントウ」附近から平良の坂上
のところまで毎晩遺念火が出て、
「若松待ちや火」といって、後世
まで、その噂はなかなか消えな
ったが、最近では、聞かれなくな
った。（おわり）

町では町史編集事業の一環と
して町民の戦時体験記を募集し
ています。

大平洋戦争終結の地として沖
縄県民は世界でも類のない激戦
場にまきこまれ、二十数万人の
戦死傷者をだしました。本町に
おいても、多数の戦死傷者をだ
し、戦死者だけでも実に四千三
百七十九名で、戦前の人口（一
万二千二百六十六）の四十二パー
セントもの尊い生命が失われ
ました。

県民は挙国一致の戦時大戦下
にあって皇民として殉国の精神
に徹するように教育され、米軍
人々をこわがらせたということ
である。

当時の人々は、この遺念火を
町史編集事業もみなさながらの
御協力により順調にすすんでお
ります。今までに、町内外のた
くさんの方々から西原町に関する
いろいろな資料提供がありました。
また、町史の聞き取り調査に積極
御協力された方々に対し、紙面を
借りて厚く御礼申し上げます。

町史資料の提供御礼

（上原）『戦中の写真』、与那城
長助氏（安室）『戦前の新聞』、
大城磯雄氏（那覇市在住内間出
身）『仲谷善英氏に関する文獻資
料』、中村朝喜氏（翁長）『西原
中説』、屋比久孟盛氏（豊見城村
在住伊保の浜出身）『終戦直後の
内間御殿の写真』、米山則子氏
（津波）『戦前の写真』、小波
津仁一氏（南風原村在住小波津出
身）『我謝馬場の写真』、崎原盛
善氏（小波津）『町史に関する情
報提供』



第一回町マラソン大会

町体育協会(会長平安恒政)で「子二五名」の参加申し込みがあつたが、マラソンをとおして、スポーツの振興と町民の健康、体力の維持増進をあわせて町民の交流を図る目的で第一回町マラソン大会を一月二十七日に行なつた。

雨の中を午前十時二十分西原中学校正門を一斉にスタートし、三キロメートルは沖銀西原支店前、五キロメートルは西原グリー



雨天の中、西原中正門前から号砲一発で全選手が一斉にスタートする。第一回町マラソン大会、48名が参加、1月27日。

ンセンター前、十キロメートルは中城村の津覇小学校前を折り返して健脚を競つた。

3位	喜友名朝得	36分52秒
4位	大城 浩	37分41秒
5位	新川 善紀	38分02秒
6位	与儀 善一	38分22秒

〔十キロコース〕一般男子

優勝	小波津盛正	36分14秒
2位	与那城 実	36分22秒

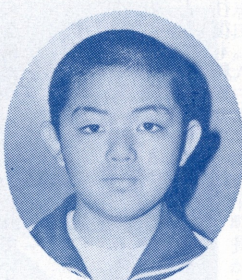
よい環境を守るための「かべ新聞」募集

公害(みんなが迷惑すること)をふせぎ、山や川、湖や海を大切に守るためにどうしたらよいのか、私たちが住んでいる町や村をどうしたら美しく守ることができようか、また、悪いところはどのようにしたらよくなるかなどを表現してください。

○締め切り 昭和55年5月10日までに到着するよう送付してください。
○賞 小学生の部、中学生の部にわけて、それぞれ環境庁長官賞と記念品がおくられます。
○送り先及び問い合わせ先 東京都千代田区霞が関3の1の1(郵便番号100)環境庁総務課 広報室
入選 1点 佳作 数点

〔五キロコース〕	優勝 与儀 榮三	20分41秒
	2位 島袋 精介	22分30秒
	3位 瑞慶覧長健	22分49秒
	4位 仲宗根玄一	23分59秒
	5位 嘉弥真国男	24分30秒
	6位 米須 清光	24分38秒

西原町フォークダンス講習会
主催 町教育委員会
期 日 3月5日・12日・19日・26日
時 間 午後7時から9時まで
場 所 西原中学校体育館
内 容 G・K・Wミクサー(黄いろボン)、ティニツクリング、他十数曲
講 師 野木将利(日本フォークダンス連盟公認指導者)
希望者はご自由に参加下さい。



内藤 敬一 君

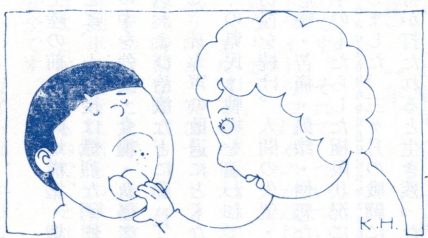
という題で話しました。先生や父さん、お母さんが見守る中堂々と話し、りっぱな話しぶりでした。内藤君は「本当に自分が三位に入賞したのは信じられない。本当にうれしかった。」と入賞の喜びを語ってくれました。

統計調査員候補者募集

町役場企画課では、非常勤で一定期間の調査を行なう統計調査員候補者五十名を募集しておりますのでご希望の方はご連絡下さい。昭和五十四年には商業統計調査(三年毎、調査員六名)、就業構造調査本調査(三年毎、調査員六名)、農林業センサス(五年毎、調査員三十六名)、工業統計調査(毎年、調査員五名)等各種の統計調査が行なわれました。その他、町では住民実態調査や農家調査なども行なっております。今年には国勢調査(五年毎、調査員六十一名)とはじめ、各種の指定統計調査が予定されております。町の調査員を希望されるかたは履歴書(二葉)御持参の上、直接町役場企画課までお越し下さい。電話番号 五一四三三三



はしか「早期発見」をカゼに似ている初期症状



はしかは春先に流行すること、よくあります。初期症状がカゼに似ているために軽く見て、その結果、病気を重くしてしまうことがよくあります。春先の乳幼児のカゼには十分注意を。
「感染の早期発見」を
はしかは、感染して初期症状が現れるまで十一日前後の潜伏期間があります。ですから、熱が出て、せきやくしゃみをして、目が充血したり目やにが出たり、いわゆるカゼの症状がみえたら、近所にはしかにかかっている子供はいないか、はしかの子供と接触しなかったかどうかなど、振り返ってみましょう。
初期症状が始まるころ、口の中をのぞくとほおの粘膜にヌカ状のぼつぼつが見られます。この時期にガンマグロブリンという注射をしてもらっておくと、はしかは軽症で済みます。
「高熱と発疹が出たとき」
高熱が続くと、体は衰弱します。「はしかは冷やすな」と昔からいうようですが、頭部は氷のうや氷まくらで冷やした方がよいでしょう。ただし、体は冷えないようにして、快い暖かさを保ち、安静第一を心がけ、部屋の保温にも気を配りましょう。
また、発疹は皮膚の表面だけでなく、消化器の粘膜にもできて、消化力は衰えます。ですから体力維持のために、栄養があり消化のよいものを与えましょう。
「ワクチンで予防も」
母親から受け継いだ免疫が切れるのは一歳前後ですので、このころ予防接種を受けることがはしかの難を逃れる方法です。一歳半から三歳ぐらいまでの間に、汗ばむ季節を避けて、子供の健康状態のよい時期を選びましょう。